



## 家族のきずな Family

友人知人の家族をリレーでつなぎます

大門裕明さん 美穂さん 拓登くん  
亮太くん 侑真くん (筒井)

筒井に住む大門さんファミリー。休日には公園に行って、のんびり家族の時間を過ごすのが好きな仲良し家族です。

裕明さんが「家族のムードメーカー」と話すようにいつも明るい美穂さん。ガーデニングが趣味で、庭には季節の花やハーブを植えています。植物の管理は、裕明さんと侑真くんの担当。侑真くんは、小さなじょうろで水やりをお手伝い。剪定に失敗することもある裕明さんを、美穂さんは笑って許します。そんな美穂さんは、裕明さんのことを「家事も育児も協力的で、戦友のような存在」とたたえます。裕明さんが毎朝5時に起きて、自分と美穂さんのお弁当を作り、美穂さんが子どもたちにご飯を食べさせ、保育所への送迎をします。2人とも仕事をしているため、お互い助け合って役割分担をしています。

「カブトムシの幼虫を4匹飼ってるよ」と目を輝かせる、虫が大好きな拓登くん。家族で遊びに行った公園で、裕明さんと木の下を掘って見つけました。そんなお兄ちゃんが大好きな亮太くん。お兄ちゃんのマネをして、「虫博士になりたい」とほほえみます。拓登くん、亮太くと侑真くんは、家では「戦いごっこ」をしてよく遊びます。たまにはけんかもしますが、気付けばいつもそばにいるほど仲良し兄弟です。

今後は県外に旅行に行きたいと話す大門さんファミリー。これからも、5人の楽しい思い出をたくさんつくっていきます。

### ◎ PROFILE

だいもん・ひろあき 会社員。趣味はマラソン。今年は10年ぶりに愛媛マラソンに出場し、見事完走 伊予市出身  
だいもん・みほ 会社員。WBCで野球に興味を持つ。特にメキシコ戦で夢中に。野球のことをもっと知りたいと思っている 松山市出身  
だいもん・たくと 特技はけん玉と絵を描くこと。お出掛けの車の中でもけん玉の練習を欠かさない 小3  
だいもん・りょうた ママと一緒にWBCを観戦。野球選手の名前をたくさん覚えた。小さなフィギュアが大好き 年長  
だいもん・ゆうま 恐竜が大好きで、トリケラトプスのフィギュアがお気に入り。寝る時もお出掛けする時もいつも一緒 2歳

## Boys&Girls, Be

## Kids

### Ambitious! 頑張る子どもを紹介します

北伊予小学校5年生の西村遥夏さん。防災をテーマにしたレポート「東日本大震災～もしもはいつもの中にある～」が「第2回愛媛県小学生防災学習コンクール」で優秀賞を受賞しました。応募総数203作品の中から最優秀賞3作品に次ぐ、優秀賞15作品のうちの一つとして選ばれた同作品。

東日本大震災について調べてみようと思ったきっかけは、2年前の3月にテレビで特別番組を見たことです。「木、家や人が流される映像を見て、こわくて夜も眠れなかった」と振り返る遥夏さん。その翌年、家族で被災地を訪れ、「本当にあったことなんだ」と実感しました。「このレポートのおかげで、災害は人ごとではない、『もしもはいつもの中にある』という言葉の意味を、小学校の友達にも伝えることができた」とほほえみます。遥夏さんが、東日本大震災について調べる中で最も心に残った言葉です。

「もし災害が起こったら、自分の命を第一に守るために避難する」と胸を張る遥夏さん。これからも命の大切さ、防災の大切さを周りの人々に伝えていきます。

にしむら はるか  
西村 遥夏 さん  
北伊予小5年・大溝

「家族の命を守るために自分の命は自分で守る」



今回は私が運営している「道真会館松本道場」を紹介します。



道真会館松本道場  
松本芳典 さん  
Matsumoto Yoshinori

## 松前の魅力 伝え隊

町民が松前町の魅力を取材します

「セイツ!」「ヤァーッ!」毎週1回、文化センターリハーサル室には、子どもたちの元気な声が響き渡ります。

松前町出身の私が、約10年前に始めた空手道場です。私の道場で習得できるのは、蹴りや突きで相手に直接打撃を与えるフルコンタクト空手。現在、約50人の松前町在住の子どもたちが稽古に励んでいます。

「明るく楽しく元気よく」をモットーに掲げ、楽しくも厳しい稽古を日々行なっています。自分の意見を言えるようになったり、試合に負けても諦めずに稽古をして次の試合で勝つことができた。そんな子どもたちの成長が私のやりがいです。

10年という活動の中で、全国大会上位入賞を果たす子どもたちもたくさん育ってきました。試合の結果は必ず全員に報告し、勝利の喜びを一緒に分かち合うようにしています。

これからも空手という武道を通して少年少女の育成に力を注ぎ、未来の日本、未来の松前町を担う人材を育てていきたいと思っています。

▼編集後記  
役場に新しい仲間が15人加わりました。緊張しているかと思いきや、写真撮影ではみんなとびきりの笑顔。マスク生活が続いて、笑顔を見る機会が減っている皆さんに、これからもたくさん笑顔をお届けします。そこで、今後はより多くの年代の皆さんを紹介するため、平成22年から続く「家族のきずな」のコーナーを終了します。今までたくさんのご家族にご協力いただきました。ありがとうございました。来月からは、健康づくりを頑張っている町民の皆さんを紹介していきます。お楽しみに。(西尾)  
新年度がスタートして1カ月。進学や就職などで大きく環境が変わった皆さんは、もう新生活に慣れたでしょうか。  
5月病という言葉があるように、ストレスなどの影響が心身に現れやすい時期。自分でも気付かない内に無理をしないよう、心の余裕を持ちたいですね。深呼吸をするだけでもリラックス効果があるので、試してみてくださいね。(加藤)



このコーナーは、広報担当者ではなく町民の皆さんがカメラを持って、松前町の魅力を取材します。取材してくれる人を募集中です。詳しくは、総務課広報広聴係(☎985-4132)に連絡を。



元気いっぱい稽古に励む子どもたち



上段まわし蹴りの稽古

